

2022年12月発売

震災前の資料を含む「正金マイクロ版」最終回配本

横浜正金銀行マイクロ版 第17期

監修・解題: 東京大学名誉教授 武田晴人

原資料所蔵機関: 東京大学経済学部資料室

発売: 丸善雄松堂株式会社

全3集 全36リール(Reel No.1450-1485) セット価格¥720,000(税抜)

第1集 本店各部(調査部宛書信)

全14リール(Reel No.1450-1463) 分売価 ¥322,000(税抜)

正金本店頭取席からの訓令を綴った明治42年「頭取席総務部 訓達 号外」は、前々年に始まった世界的な景気後退による中国経済への影響とその対策、支店で生じた滞貨金に対する準備金の積立に関する指示、金貨圏と銀貨圏の為替売買に関する方針等々、日本が本格的に満州進出を展開した時期の正金の経営を窺い知ることができる資料である。

大正10年頃の「総務課通達」及び「文書通達第三号」などは、戦後恐慌によって経営破綻に陥った茂木合名会社、安部幸兵衛商店、横浜生糸株式会社などに関する資料であり、ほかにも大戦後の経営方針や有力取引先との関係性に言及した資料も豊富に収録。注目すべき数値データとしては、得意先別の信用状発行残高、売渡約定先、保証人并ニ保証額又ハ差入担保を記載した「爪哇糖輸入信用状残高調」などがある。

第2集 本店各部(諸調査及メモ)

全11リール(Reel No.1464-1474) 分売価 ¥253,000(税抜)

調査などのメモや報告の草稿と思われる「東洋課メモ」全8綴には、臨時資金調整法などの法律の説明と思われる資料のほか、「担保不動産担保価格報告方ニ関スル件」、「梅田半次郎ニ対スル天津支店償却済債権ノコト」、「長春、島名福十郎割手ノ件」などのメモ、日仏銀行設立理由趣意書や日仏銀行定款などを収めた「秘書係参考書類及雑信」を収録。

第3集 本店各部(業務部ほか)

全11リール(Reel No.1475-1485) 分売価 ¥253,000(税抜)

現送のつどの伝票を綴っている「儲備券現送明細書」をはじめ、中南米関係の資料や戦争末期にかけての各店の営業成績などをカバー。異色を放つのは、「官約移民」に関する綴4冊と関連する訴訟記録であり、正金に対する官約移民の積立金返還要求をめぐる一連の記録となっている。ほかにも昭和初期のものと思われる「横浜ニ於ケル主ナル輸入商社リスト」、昭和9年上半期における正金のいわば不良債権情報を記載した「本行各店ヨリ報告ニ係ル利息収入ナキ債権調」等々、興味深い資料もあり。

丸善雄松堂株式会社

【企画開発統括部】〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 TEL: (03)6367-6025/ kenkyushien@maruzen.co.jp